

ITHDグループの音楽団体「楽友会」第1回定期演奏会



「ITホールディングス楽友会」は1月31日、第1回定期演奏会を開催しました。楽友会はITホールディングスグループの社員で構成する音楽団体で、昨年6月に設立されました。現在、グループ各社から80名を超えるメンバーが参加し、会社や職種を超えて活動しています。そのうち約20名がインテック社員と役員です。

これまでビルのロビーでランチタイムコンサートなどを行ってきましたが、大人数での演奏会は今回が初めて。吹奏楽による「アナと雪の女王」や管弦楽によるドヴォルザーク交響曲第8番など、全7曲を披露し約350名の観客を魅了しました。

アンコールには全員合同で「星条旗よ永遠なれ」を演奏、会場の手拍子と一体となって盛り上がりました。終演後、観客から「感動した、とても良かった」という声が聞かれました。楽友会では、今後も定期演奏会やロビーコンサートを予定しています。

楽友会の紹介

3年ほど前、ITHDグループのSNSにインテックのある社員がつぶやきました。

「みんなで集まって音楽できないかなあ」これをきっかけに、何度も楽器を持ち寄り、飲み会をしたりしつつ、徐々に人の輪が広がっていきました。

そしてついに第1回定期演奏会。学生の時以来久しぶりに楽器を取り出した人も、セミプロ級の人も一緒に合奏しました。楽器は演奏できないけれど音楽が好き人もスタッフとして演奏会を支えました。全員演奏の「星条旗よ永遠なれ」は舞台・客席の一体感を生み、私自身もその一員としてかつてない高揚感とグループの力強い未来を感じました。

今後も、音楽を通じて人と人の絆が広がり、そして深まっていくよう、活動をしていきたいと思っています。



楽友会副代表

荒野 高志

(株式会社インテック 執行役員)

富山大学工学部の「製品開発体験実習」をサポート

インテックは富山大学工学部の「製品開発体験実習」に協力しています。この実習は、学生が企業技術者からアドバイスを受けて実際に製品開発を行うもので、平成26年度は7企業が参加しました。

インテックは「身近なスマートデバイスを使って工学部生協の業務効率化を図る」、「プロジェクトの全体工程を体験する」をテーマに設定し、北陸地区本部産業第二システム部の技術者が半年余りにわたって学生をサポートしました。

学生たちは実習の中で発生した問題にチームで対応しながら、実社会で利用されるICT環境を作る楽しさと難しさを体験しました。



2月13日に行われた成果発表の様子

北陸新幹線開業記念 地上100メートルから新幹線を見よう

北陸新幹線を地上100メートルから見ていただこうと、開業日の3月14日限定で、JR富山駅北側に建つインテック本社ビル「タワー111」21階会議室を一般公開しました。

2013年11月に創立50年記念事業として一般公開した際、「北陸新幹線をここから見たい」とのご要望が多数あったことから、再度企画しました。開場の午前6時には、富山駅6時19分発の一番列車を見ようと多くの方が来場されました。

午後5時の終了までに1739人の来場者が、富山平野を颯爽と走る新幹線の姿を楽しみました。



EINS WAVE (アインスウェーブ) グローバルなマルチクラウド環境を提供

企業のクラウド利用の本格化、海外への事業展開が進む中、インテックは広域仮想クラウドサービス「EINS WAVE」のマルチクラウド化を進めています。

昨年11月にはIBMの「SoftLayer」、続いて1月に日本マイクロソフトの「Microsoft Azure」との連携を発表し、今年1月から販売をスタートしました。SoftLayerはIBMが、Microsoft Azureはマイクロソフトが全世界で展開するクラウドサービスです。

EINS WAVEと、Microsoft Azure、SoftLayerを安全性の高い閉域ネットワークで連携することで、EINS WAVEから統合的に両クラウドサービスの多彩な機能を使うことができるようになります。

お客さまが、それぞれのニーズに合わせて最適なクラウドサービスを選択できる環境を充実させるため、インテックはEINS WAVEの一層の発展を図り、マルチクラウド環境のサービス拡充を進めていきます。

お問い合わせ先：株式会社インテック N&O事業推進部 TEL：045-451-2398 E-mail：net_info@intec.co.jp



● EINS WAVE

首都圏、北陸、関西の3地域の高機能データセンターを仮想LANで接続することで、ひとつのデータセンターとして機能させた国内初の高可用性広域仮想クラウドサービスです。各拠点で仮想サーバやバックアップなどのIT基盤サービスとなる「IaaS」、電子証明書発行やID認証などクラウドを安全に利用するためのサービス「PaaS」、EDIをはじめ各種アプリケーションを実装した「SaaS」を提供し、二重化した独自開発の運用イノベーションで一元的に管理します。

高志インテック 新CM「ARで踊ってみた。」

高志インテックは昨年12月から、新しいテレビCMの放映を開始しました。タブレットとスマートグラスを利用したAR*を再現するもので、機器を通して目の前の風景にモデルが浮かび上がり、音楽に合わせて踊り始めます。さらに、画面(空間)に触れるとモデルの衣装が切り替わります。

高志インテックはスマートデバイス(スマートフォン、タブレット)やウェアラブル端末のアプリ開発と技術開発に取り組んでおり、最新機器と新しい技術へ挑戦し、夢を広げるサービスを提供していくというメッセージをCMに込めました。

CMは同社Webサイトでも公開しており、同じARを体験できるiOS、Android端末向けのARアプリも公開中です。



お問い合わせ先：株式会社高志インテック TEL：076-432-4632
http://www.koushi-intec.co.jp/

* AR(Augmented Reality)：拡張現実

機密情報の保管を簡単操作で 秘密分散ストレージサービス「S*Plex3」

インテックは昨年10月、スカパーJSATのクラウドサービス「S*Plex3秘密分散ストレージサービス(S*Plex3)」事業を譲受し、広域仮想クラウドサービス「EINS WAVE」のサービスとして提供を開始しました。

衛星通信・放送で使われる基礎技術を応用して開発されたS*Plex3は、データを暗号化、断片化して複数データセンターに分散して保管します。国内最高レベルのセキュリティと耐災害性、拡張性を実現しており、個人情報や機密情報、公的に保存期間が定められているデータなどを安全に保管できるとともに、全国7カ所のうち2カ所分のデータ断片が失われたとしても元データを完全に復元することができます。

また、インテックが認定したNAS*を導入することで既存環境にはほとんど手を加えず簡単に利用できるため、ネットワークの専門家がない小規模企業や病院、個人事務所などの災害対策・バックアップニーズにもお応えします。

○詳細はホームページをご覧ください。
http://www.intec.co.jp/service/detail/splex3/

お問い合わせ先：株式会社インテック N&O事業推進部
TEL：03-5665-5184 E-mail：splex-sales@intec.co.jp

* NAS:Network Attached Storage
ネットワークに直接接続し、コンピュータなどからネットワークを通じてアクセスできる外部記憶装置

女性がより生き生きと働く企業へ 検討委員会を設置

インテックは、企業、産業、社会における新しい価値を創造する「社会システム企業」を実現するために、社員がより幸せに、より生き生きと働くことのできる企業を目指しています。

第一ステップとして、ライフステージの変化により、生活環境に影響を受けやすい女性に焦点をあて、「女性にとって一層働き甲斐のある企業」になるための検討委員会を1月に設置しました。具体的アクションを検討することで、最終的に全社員がより生き生きと働く企業になるヒントを得ることを目的としています。

委員会は、東京、横浜、名古屋、大阪、仙台、富山の各地域から独身、既婚、子育て中など生活環境や年齢も様々な女性社員13名と、女性視点に偏らないよう男性社員を加えた、計14名で構成し、経営層への提言書提出を目指して活動しています。



第1回電力自由化EXPO エネルギー業界向けサービスを紹介

ITホールディングスグループは2月に開催された「第1回電力自由化EXPO」に出展しました。同EXPOは来年4月の電力小売全面自由化に向け、電力小売事業に関連するサービスが一堂に会する展示会です。

インテックは「顧客接点業務代行サービス*1」「電力小売基幹業務クラウドサービス*2」「高機能データセンター(EINS WAVE)」「IoTセキュリティ」など、事業に進出するお客さまを支援するサービスを紹介しました。インテックブースへの来場者は3日間で1,000人を超え、サービス内容実演の際には待ち行列ができるほどの盛況となりました。

インテックは今後もエネルギー業界向けサービスを続々と提供していく予定です。



*1 電力契約先との接点となる申込受付、問合せ対応、請求・回収などの業務を代行するサービス。
*2 電力小売事業に必要な業務である受付、顧客管理、検針管理、料金計算、請求・回収管理などのシステムをクラウド型で提供するサービス。

BtoC企業向けビジネスの拡大 夢の街創造委員会と提携

インテックは12月9日、宅配ポータルサイト「出前館」などを運営する夢の街創造委員会と資本・業務提携契約を締結しました。夢の街創造委員会が運営する宅配ポータルサイト「出前館」は、2000年にサービスを開始し、現在11,000店舗を超える加盟店、600万人を超える会員数を有する日本国内最大規模のデリバリーポータルサイトです。

今回の提携により、インテックはオムニチャネル*時代におけるBtoC企業向けシステムの構築ノウハウをさらに蓄積してビジネス拡大を目指します。

また、夢の街創造委員会ではインテックからICT技術の提供を受けることで、様々な課題解決を図り、機動的な取り組みを行うことが可能になると考えています。

● 出前館 <http://demaee-can.com>

日本国内最大規模の宅配ポータルサイト。多数のジャンルの出前サービス店舗から、メニューや「現時点でのお届けまでの待ち時間」などの情報を見て、特典付きで出前を注文できます。

*オムニチャネル：実店舗や電話のほか、PC、スマートフォン、タブレットなどを使ったオンラインストアなど、様々な販売チャネルや流通チャネルを統合すること。また、それによってどの販売チャネルからも同じように商品を購入できる環境を実現すること。

先進技術を活用 イノベーションセミナー開催

インテックは3月6日、「先進技術活用イノベーションセミナー」をセルリアンタワー東急ホテル(東京)で開催しました。東京大学大学院の江崎浩教授による「インターネット・バイ・デザインー21世紀型社会インフラ基盤の構築に向けてー」と題した基調講演に続き、IoT/M2M時代のビッグデータ蓄積・分析プラットフォームやコンパクトシティとして注目されている環境未来都市「富山市」におけるインテックの取り組みについて説明しました。

また、インテックが2月に提供を開始した位置情報プラットフォーム「i-LOP(アイロップ)*」も紹介し、100名を超えるお客さまが熱心に耳を傾けました。



講演する江崎浩教授

* i-LOP(アイロップ)
GPSやWi-Fi、iBeacon、音波など、複数の測位技術を組み合わせることで、屋内外の位置情報を事業者やアプリ開発者へシームレスに提供する、インテック独自のサービスプラットフォーム。